

坂の上通信

令和二年六月十七日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

コロナ禍 爪あと深く

生徒同士の話し合い 困難

6月より再開された学校生活。しかし「三密」を避けるため、また4月・5月に実施できなかった授業を補うため、様々な影響が生じている。

一斉型の授業

美高では協同学習の一環としてペア・グループワークを取り入れた



以前のような班体型での話し合いの姿は見られない

授業が多かった。しかし新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)の予防のため、多くの先生が一斉講義型の授業に切り替えている。

地歴科の田中先生もその一人だ。休業中はHPに短い動画を積極的にアップロードしていたが、実際の授業では答えをペアで確認し発表することが多かったため、影響は大きいそうだ。授業のリズムがつかみにくく、頻繁な問いかけも難しかったため、生徒の理解が浅くなってしまわないか心配だという。

今は、できるだけ発声での話し合いがないようプリントの答えを見せ合ったり、あえて二択問題にして挙手をさせたりするなどの工夫を行っている。

行事の中止相次ぐ

コロナの影響で、学校行事も相次いで中止や延期に追い込まれている(左表)。

例えば今月予定されていた文化祭は例年大きな盛り上がりを見せ、楽しみにしていた生徒も多いだけに、残念がる声が多く聞かれる。

文化祭を最後の発表の場と考えている文化系部活動があったり、行事の様子を卒業アルバムに掲載することができなかつたりと、影響は大きい。

行事の中止とこれからの対応について、台原教頭先生にお話をうかがった。

「やむを得ないこととはいえ、一大イベントが立て続けに中止になったことで、生徒のみなさんの元気が失われていないか心配です。小規模になるでしょうが、中止となった行事の代わりとなるイベントが何かできないか、先生達も考えています」

学校の「顔」にインタビュー



今回の学校の「顔」は、主幹教諭で英語科の西先生だ。

「どんな高校生で一般的な生徒ですか?」

たよ。騒いだり悩んだり失敗したりして一生懸命に高校生活を送っていましたね。

好きな教科は音楽と生物でした。休日の過ごし方は?」

美高生に一言。ポテンシャルが高い生徒が多いと思います。自信を持って夢を描いてください!

自然の中を走ったり、太陽の下で本を読むのが好きですね。昔はスポーツをしていたので、時間が許せば球技もしたいです。

休業措置により影響のあった行事(一部)

行事	当初の予定	変更後
中間試験	5月18日~5月21日	中止
期末試験	6月30日~7月6日	7月13日~7月17日
文化祭	6月12・13日	中止
体育祭	9月11日	中止
夏季休業	7月23日~8月23日	8月1日~8月16日

形容詞な〇〇

形容詞+メディアで色々なものを紹介するコーナー「形容詞な〇〇」。今回は国語科の舟橋先生より、怖い小説を紹介する。

紹介者	国語・舟橋先生
形容詞	怖い
対象	小説

怖い小説、というところでですが、どんなお話なのですか。吉村昭の『熊嵐』という小説です。呪いや幽霊などが出てくるホラー小説ではありません。大正時代に実際に起こった、ヒグマが開拓民を襲った事件をモデルにした話です。どこか怖いです。



新聞記事のような淡々とした文章ですが、巨大な熊と凄惨な襲撃描写にぞっとします。不謹慎ですが、読めばとても怖い恐怖体験ができるでしょう。ただグロテスクな描写もあるのでそこは注意を。

有終の美飾れず

試合や大会の中止・延期により、最後の締めくくりの場を奪われた3年生も多い。いくつかの部活動にコメントをよせてもらった。

弓道部 廣田さん

今回、コロナの影響で3年生は残念なことに引退となりました。引退がこのような急な形となり残念です。先生、今まで弓道を教えていただきありがとうございます。後輩達は、弓道向上に向けて、日々の練習を頑張ってください。

テニス部 川谷くん

部活動ができず、最後の大会が遅れて受験勉強のために出場が難しい部員もおり、とても残念に思っています。顧問の沖森先生、このような最後にはなりませんが、お世話になりました。ご指導ありがとうございました。

野球部 内田くん

新型コロナによって春の大会や練習がなくなってしまう、とてもショックでした。しかし夏の代替試合が決定し、それに向けて頑張ってください。

演劇部 古賀さん

合同公演と文化祭がなくなりとても悲しいです。せめて引退公演は行おうと思っていますが、後輩の皆さんには次がある、ではなく、次はないかもしれない、という気持ちで一つひとつ全力で取り組んでほしいです。

こうち総文WEBで開催

8月上旬頃に開催予定だったこうち総文が、新型コロナの影響でWEBでの発表・交流となることが決まりました。新聞文化部も県代表として8月1日に高知県に行く予定だったが、WEB上で新聞を掲載するのみとなった。仕方がないという思いの反面、全国の新聞部と交流できないのが残念です。(福田紫乃)

美・鈴・鈴・鈴

休業措置が終わる半月が経った。そろそろ再開後の学校生活に慣れてきた人も多いのではないだろうか。今回のように学校が長期にわたって閉鎖されたのは、戦後初めてのことで、そのため過去の事例やデータが少なく、生徒も先生たちも様々な面で戸惑っている状況だ。美高だけではなく、全国の学校が同じ状況におちいっている。▼長引く休業に、オンラインで授業を始めた学校もある。しかし慣れないモニター越しの授業に、違和感を覚える生徒も多かったようだ。一方で、オンライン授業を実施しなかった学校の生徒からは焦りを感じる声も聞かれる。▼しかし長期休業が逆に良かったという人もいる。自分の進路を見直したり、時間があったら学習できたとするのがその理由である。▼多くの学校が再開しているが、いつコロナの第二波が来るか分からない。その時どう時間を活用するか。それを考え備えておくことが大きな差に繋がるのではないだろうか。(福田紫乃)

編集後記

早くいつもの風景に戻ることを願います。